

3. Fact Sheets 大学別ファクトシート

本書のメインコンテンツである、大学別のファクトデータを網羅したファクトシートです。

How to Read 大学別ファクトシートの見方

大学別ファクトシートは、平成 30 年度、令和元年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」の結果¹、および、特許庁による公開特許公報情報を含む公開情報等に基づき、大学ごとに産学官連携本部機能や、特許出願・活用実績、産学官連携取り組み状況等を掲載している。

掲載大学

「大学ファクトブック 2020」において掲載のあった大学、および、令和元年度文部科学省「大学等における産学連携等の実施状況調査」において「産学官連携本部等の整備」に「ある」と回答した大学を掲載している。なお、掲載順序については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の機関別調査結果における共同研究額の多い順（同額の場合は 50 音順）としている。

掲載項目

上記の調査等における質問項目については青色セル、上記の調査等の結果をもとに経済産業省において数値を算出した項目、および複数選択肢の質問に対する該当項目については赤色セルで表示している。

① 基礎情報

- ・「運営費交付金」については、公開情報より、令和元年度の国立大学運営費交付金を記載。
- ・「産連 HP」、「シーズ HP」については、「大学ファクトブック 2020」の掲載内容と、大学ファクトブック内容確認時の大学からの回答を記載。
- ・その他の項目については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載。

② 産学連携担当部署の体制

- ・「実務担当者数」、「専門家の配置」については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載。「専門家の配置」については、同調査において配置していると回答のあったものを赤色で表示している。

③ 外部資金

- ・「共同・受託研究実績」については「大学等における産学連携等の実施状況調査」より 2018 年度・2019 年度の実績（件数、総額）を記載し、より 2019 年度の民間企業との共同研究件数の規模別のヒストグラムを記載している。
- ・その他の項目については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載。なお、「組織的産学連携活動」における「産学連携本部が関与した共同研究」は、1,000 万円以上の国内民間企業との共同研究を対象とする。

④ 特許出願・活用実績

- ・「大学等における産学連携等の実施状況調査」より「特許出願件数」、「特許保有件数」、「特許権実施等件数・収入」を記載している。当該記載に基づき、散布図を作成した（赤い点は各ページの掲載大学を示し、青い点は本ファクトブック掲載の他大学を示している）。
- ・公開特許公報情報より、2017～2019 年に公開された公開特許公報（特許公報、再公表特許の一部を含む）の情報に基づき、各大学の設置法人が出願人となっている特許出願について、経済産業省で IPC 技術別出願分布、出願数上位技術分野を経済産業省で集計した。²
- ・その他の項目については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載。「職務発明の帰属」については、職務発明がなされ特許を受ける権利が発生した時点での当該権利の帰属（原始帰属）を記載。

国 立 京 都 大 学 ①

基礎情報

大学の運営方針とその具体例

産学連携活動において今後重点をのぞく事項

運営費交付金 56,837 百万円
研究員数 5,337 名

産学連携担当部署の体制

実務担当者数	実務担当者/研究員数
74 名	72

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	件数
内、マダニが行った共同研究	0 件
内、マダニが行っていない共同研究	7 件

外部資金

科目	件数	金額(千円)	
		総額	平均
共同研究	1,227	6,478,149	5,287
共同企業との共同研究	1,415	1,256	887
大企業	985	271	275
中小企業	430	985	229

共同研究のヒストグラム

2018年度	2019年度	増減
総額	6,478,149	1,415
共同企業との共同研究	1,256	985
大企業	985	271
中小企業	271	430

特許出願・活用実績

特許出願件数	524	研究費あたり	0.098
特許保有件数	2,800	研究費あたり	0.525

出願数上位技術分野(2019年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C12	化学、製薬学、農学	163
2	A61	医学、歯科学、薬学	109
3	G01	物理学	93
4	H01	電気学	88
5	C07	有機化学	74
6	G05	制御工学	69
7	C08	高分子化学	64
8	H04	電気通信	54
9	B01	化学工業	28
10	C01	冶金学	25

特許権実施等件数

件数	1,919	実施等件数あたり	352.5
収入(千円)	676,397	収入あたり	352.5

特許収入の散布図

¹ 調査結果については、以下も参照。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/1413730_00010.htm
² なお、当該期間に公開された P C T 国際出願については、手続きの時期等により集計されていないものがある（上記期間に公開された公報に基づき集計しているため、上記の特許出願・活用実績とは数値が異なる場合がある。）。また、設置法人により設置された大学が複数ある場合など、大学別に集計ができない場合がある。I P C 分類と技術分類別出願分布、出願数上位技術分野で用いられている技術分野との対応は、前掲の対応表を参照されたい。

⑤ その他の体制整備

「URA」、「各種規程類の整備状況」、「クロスアポイントメントの実績」については、「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載¹。各種規程類の整備状況については、同調査において既に策定済みもしくは他の規程に内包されると回答のあったものを赤色で表示している。

⑥ ベンチャー支援体制

「大学等における産学連携等の実施状況調査」の回答を記載。

⑦ 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会等

大学ファクトブック内容確認時の大学からの回答を記載。

⑧ 組織的産学連携活動の取組事例及び産学連携活動の主な実用化事例

「大学等における産学連携等の実施状況調査」における「組織的産学官連携活動の取組事例」及び「産学官連携活動の主な実用化事例」を指す。

その他の体制整備 ⑤

URA	URA協会の研究費
新規創設回数	47 名 114

各種規程類の整備状況	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学連携規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
協賛規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
共同研究規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学共同研究規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学官連携規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学協賛規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学協賛規程	策定済み規程 (数値のみ対象)
産学協賛規程	策定済み規程 (数値のみ対象)

クロスアポイントメントの実績 (人)	大学等	公的機関	産研企業	その他機関
導入	13	5	0	0
消滅	7	10	0	1

ベンチャー支援体制 ⑥

ベンチャー数	205 社	VCベンチャー数	55 社
創業年	1,921,439	創業年	29 社

イベント名	産学官連携展示会	実施時期	毎年5月頃
-------	----------	------	-------

組織的産学連携活動の取組事例 ⑧

産学連携の新しい「京大モデル」の構築

産学連携活動の主な実用化事例

赤ちゃんからのメッセージが浮かびあがる新機軸を搭載したベビー用紙おむつ「ナチュラルムーニー」

産学連携活動の主な実用化事例

赤ちゃんからのメッセージが浮かびあがる新機軸を搭載したベビー用紙おむつ「ナチュラルムーニー」

産学連携活動の主な実用化事例

赤ちゃんからのメッセージが浮かびあがる新機軸を搭載したベビー用紙おむつ「ナチュラルムーニー」

¹ URA : 大学等において、研究者とともに（専ら研究を行う職とは別の位置づけとして）研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行う（単に研究に係る行政手続きを行うという意味ではない。）ことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指す。
 クロスアポイントメント：研究者等が2つ以上の機関に雇用されつつ、それぞれの機関において「常勤職員」としての身分を有し、本部として研究・開発および研究に従事することを可能とする仕組み。